

14年度のながわ長寿社会開発センター事業

◇第14回かながわ高齢者文化祭の開催(9/14~15)

高齢者の活力や文化的エネルギーを地域に広げ、新たな社会参加のきっかけづくりを図るイベント。活動事例発表、セカンドライフセミナー、世代間交流ニュースポーツ体験、健康等各種専門相談等

◇第1回シルバー美術展(9/20~22)

◇全国健康福祉祭(ねんりんピック)ふくしま大会への選手団派遣(10/19~22)

高齢者を中心とするスポーツ、文化活動、健康、福祉等に関する総合的な全国大会。卓球、テニス等14種目に110名の選手を、ふくしま大会に派遣

◇健康・生きがいづくりの情報提供(準備中)

<http://www.nenrin.or.jp/kanagawa>

◇シニアの仲間づくりの支援

グループ活動を立ち上げるシニアやグループ活動の運営や内容の課題解決に向け、要請に応じアドバイザーを派遣

◇明るい長寿社会づくり推進機構関ブロ会議の開催

詳細は「かながわ長寿社会開発センター」まで

☎045-311-8734・FAX045-312-6302

高齢者自身の取り組みを支える

センターの役割は、高齢者自身の取り組みを支援することにあります。そのためには、高齢者自身を始めとし、県民一人ひとりの高

を図るため、財団と県社協が組織一体化したのは本年四月のことです。これにより、新たに「かながわ長寿社会開発センター」(以下、センター)を設置し、明るく活力ある長寿社会の実現に向け、事業を展開していくこととなりました。

高齢者に対する見方・考え方を変えていくこと。そして、高齢者の尊厳を守り高めて、高齢社会を担う主体としての高齢者観を確立する取り組みが必要です。

センターでは、高齢者のだれもが孤立したり、孤独な気持ちに陥り、引きこもった生活を送ることがないように、だれもが地域の一員として、健康でいきいきと社会に参加できるよう、様々な機会を捉え、高齢者の社会参加への啓発と機会づくりを進めます。

主な事業として、「かながわ高

齢者文化祭」の開催や「全国健康福祉祭」(通称・ねんりんピック)への選手団派遣、シニアの仲間づくり支援、高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報提供等を行っていきます(別表)。

センターの運営については、高齢者団体はもとより、福祉・保健・医療やスポーツ、マスコミ、学識者、関係行政機関の参画を得た運営協議会で協議しながら進めていきます。また個別事業については、より多くの関係者の参画による協力・協働のもと、展開していく予定です。

更に、高度情報社会といわれ、多くの情報が氾濫している昨今においては、高齢者のニーズに即した情報提供に、力を注いでいくことが重要であるとの認識から、インターネットのホームページを媒介して、適切に提供していきたいと準備しています。

活力ある高齢社会の実現へ

「長寿社会対策大綱」制定以降、文部省(現在の文部科学省)に生涯学習局が開設され、各種施策を展開することとなりました。関係省庁においても施設整備や人材育成と、多くの生涯学習講座づくりが進められました。

高齢者自身の学習意欲も近年と

みに増しており、国立教育研究所の調査によると、入門よりも、少し高い程度の内容の学習ニーズが増加する傾向にあります。学習を通じて楽しみや充実感が増し、交友関係が広がり、仲間づくりが進んでいる状況です。

県内市町村社協では、高齢者を中心とした健康保持、趣味・学習活動、仲間づくりを進める場として、「ふれあい・いきいきサロン」(十二年度実績で百カ所超)づくりに取り組んでいます。

このような身近な場を、学習や仲間づくりの場所として活用していくこと。講座やイベント等に関する情報を、福祉や生涯学習、あるいは教育の領域を超えて、一元的に提供できる状況を作ることが課題となっています。

今後は、センターと市町村行政の関係部局、市町村社協、地域の関係団体等との協働のもと、情報交換や連携を積極的に図り、体制づくりを進めていきます。

また仲間づくりや活動内容についての相談にも、積極的に応じていかねばなりません。適切なアドバイスをし、高齢者自身が明るく、活力ある高齢社会の実現の担い手となる社会づくりを進めていきたいと思っています。

(かながわ長寿社会開発センター)